



宮川 勇 議員



録画映像

農地基盤整備事業に関する件

問 事業の早期完了に向けて手立てを考えているか

答 市長
継続的な財源の確保が必要のため、国に要望している

問 高齢化の波は、農業従事者にとっても深刻な影響を与えています。

整備事業が長期に渡ることが承知していますが、一刻も早い事業の完成を望んでいる者の一人として、以下のことにしてお伺いします。

現在市内で、計画または進行中の基盤整備事業の進捗状況と整備完了の見込みについてお知らせください。

また、事業の早期完了に向け、どのような手立てを考えているかお聞きします。

答 (市長) 基盤整備の実施は、農業従事者の高齢化や後継者不足のほか、食料の安定供給、農家の所得向上といった課題に対応し、農地の区画整理や水路の整備、農道の拡幅など、農業生産の効率化や省力化が図られる重要な施策であると認識

しています。

現在進行中の基盤整備実施箇所は4地区で、東開発地区が令和7年度、御上谷地地区は令和11年度、南大野北部地区は令和13年度、村内地区は令和14年度に完了する予定で、来年度は、文月、向野地区で畑の整備を計画し、令和9年度に完了する予定です。

次に、事業の早期完了に向けた手立てについては、本市の予算のみで実施していくことは困難であることから、国や北海道の負担も含めて進めていかなければならないと考えており、そのためには、継続的な財源の確保が必要であるため、北海道市長会を通じ、国に対し、農地集積、集約化を確実に進めるため、農業生産基盤の整備を促進するようにと要望をしています。

トマト共同選別施設改修に関する件

問 新施設に鮮度を保つ機械を導入すると聞いたが

答 農林課長
特別な光を照射することにより鮮度の低下等を抑制するiRフレッシュという機械を導入予定

問 (1) トマト共同選別施設新築工事実施

設計委託料には、新設の集出荷施設、改修の集出荷施設、トマト貯蔵施設、これらが含まれているかお知らせください。

(2) 国への補助申請は総額で幾らか。

また、採択の見込みと時期についてもお知らせください。

(3) 既存施設の撤去については、すべて農協が担うのかお聞きします。

答 (市長) (1) 既存のきゅうり共同選別施設及び予冷库の解体後に建設する施設の

実施設計費5千779万4千円、地質調査委託料1千40万6千円、建築確認申請等の手数料に関する経費109万7千円となっており、現トマト集出荷施設については、集出荷施設内に新函館農業協同組合の負担でプレハブ式貯蔵庫を設置する計画のため、今回の実施設計委託料には含まれていません。

(2) 第2世代交付金の実施計画については、北海道を通じて国に提出しており、交付対象事業経費は16億1千877万9千円で、内訳はトマト共同選別施設増築工事実施設計委託料6千929万7千円、今回増築するトマト共同選別施設の建設に係る経費15億4千947万2千円となっています。

また、交付決定額の内示は、3月下旬予定で、採択に向けて制度を所管する内

閣府と北海道を通じて申請しています。

(3) 新函館農業協同組合の負担額は約3億円、内訳は、既存のきゅうり共同選別施設、野菜集荷場、トラックスケール、予冷库などの撤去に関する費用、きゅうり共同選別施設の移設先である米の低温倉庫の改修工事に関する費用、既存のきゅうり共同選別施設の機械設備の移設に関する費用と伺っています。

なお、新たなトマト共同選別施設に導入する機械設備に関しては、新函館農業協同組合が事業実施主体となり、国の補助事業を活用することで、現在も北海道と協議を行っています。

問 新しい施設では、鮮度を保つ特別な機械が導入されると聞いたが。

答 (農林課長) iRフレッシュという機械で、特別な光を照射することで鮮度の低下等を抑制することができる機能です。



鮮度の低下等を抑制するiRフレッシュ
[提供：新函館農業協同組合]